

尼崎市総合計画審議会第3分科会資料
資料第2号 - 1
平成29年3月30日

## 各施策別の取組について

尼崎市



# 各施策別の取組について

尼崎市総合計画審議会 第3分科会

# 網掛け部が第3分科会の担当施策 左が前期計画、右が後期計画（案）

前期計画				後期計画（案）		
1	【地域コミュニティ】	第1分科会		1	【地域コミュニティ】	第1分科会
2	【生涯学習】	第3分科会		2	【生涯学習】	第3分科会
3	【学校教育】	第3分科会		3	【学校教育】	第3分科会
4	【子ども・子育て支援】	第3分科会		4	【子ども・子育て支援】	第3分科会
5	【人権尊重】	第3分科会		5	【人権尊重・多文化共生】	第3分科会
6	【地域福祉】	第1分科会		6	【地域福祉】	第1分科会
7	【高齢者支援】	第1分科会		7	【高齢者支援】	第1分科会
8	【障害者支援】	第1分科会		8	【障害者支援】	第1分科会
9	【生活支援】	第1分科会		9	【生活支援】	第1分科会
10	【医療保険・年金】	第1分科会	} 統合 →	10	【健康支援】	第1分科会
11	【地域保健】	第1分科会				
12	【消防・防災】	第2分科会		11	【消防・防災】	第2分科会
13	【生活安全】	第3分科会		12	【生活安全】	第3分科会
14	【就労支援】	第2分科会	} 統合 →	13	【地域経済の活性化・雇用就労支援】	第2分科会
15	【地域経済の活性化】	第2分科会				
16	【文化・交流】	第3分科会		14	【魅力創造・発信】	第3分科会
17	【地域の歴史】	第3分科会		15	【地域の歴史】	第3分科会
18	【環境保全・創造】	第2分科会		16	【環境保全・創造】	第2分科会
19	【住環境】	第2分科会	} 統合 →	17	【住環境・都市機能】	第2分科会
20	【都市基盤】	第2分科会				

# 施策02 生涯学習

## ・前期計画策定時の背景（課題）

心の豊かさや生きがいを求める意識が高まるなか、生涯学習やスポーツ活動に対する市民の参加意向が強まっており、また、生活習慣病や介護の予防という観点からも市民の健康の維持などが課題

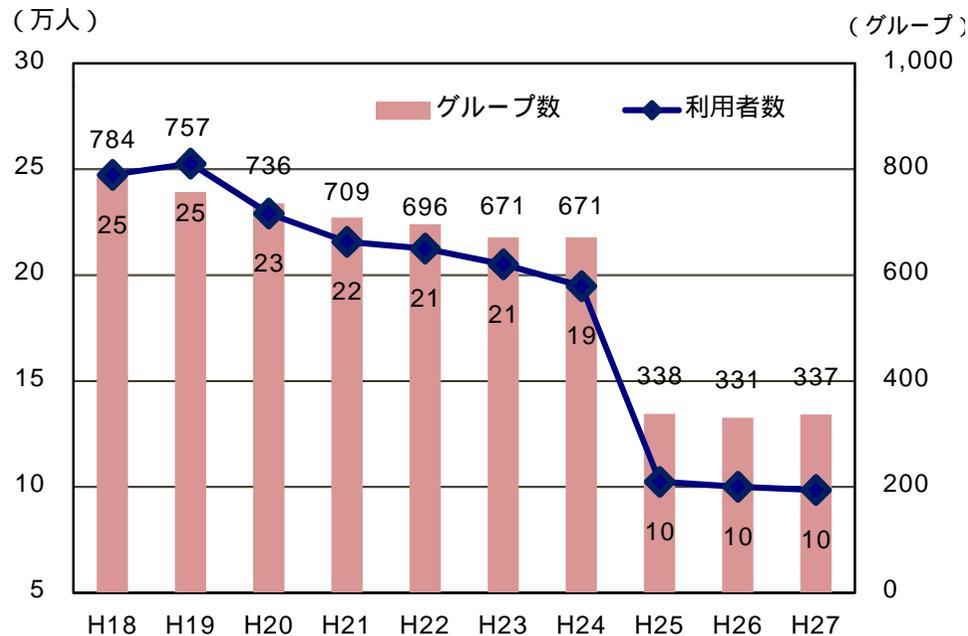
## ・前期計画策定後の主な取組

尼崎学びのサポート事業の実施/「みんなのサマーセミナー」の実施/公民館夏休みオープンスクール/生き方探究キャリア教育支援事業など

## ・今後の主な取組

地域と学校の連携・協働活動事業の実施/「みんなの尼崎大学」の取組など

公民館利用者数(登録グループ内)と登録グループ数の推移



指標名	方向	策定時の値	実績値				達成率	
			目標値 H29	H25	H26	H27		H28
公民館利用者数 (目標値より右欄は公民館利用者数の内数(生涯学習推進事業等講座受講者数と家庭・地域教育推進事業等受講者数))		(H26) 35,266 人	35,266	33,825	35,266	37,497	** 0 %	100.0 %
健康を意識した運動やスポーツを心がけている市民の割合		(H23) 63.7 %	66.8	71	63.3	62.3	** 0.0 %	0.0 %
地域活動の中で、生涯学習の成果が活かしていると感じる市民の割合		(H23) 5.9 %	6.4	4.4	7.2	7.5	** 0 %	100.0 %

## 主な変更点

前期計画より大きく変更する必要はないが、学習などを「生きがい」としていただくことと、その「学び」を地域社会にいかしていただくことは関連した取組である事から、展開方向1と3を一体的に記載し、あわせて進捗管理を行っていく。

# 施策03 学校教育

## ・前期計画策定時の背景（課題）

子どもの体力の低下が指摘されており、社会環境やライフスタイルが急速に変化するなか、子どものコミュニケーション能力や社会適応能力の低下、子どもが被害者となるような自然災害や事件・事故が発生しており、地域や学校の安全・安心を確保することなどが課題

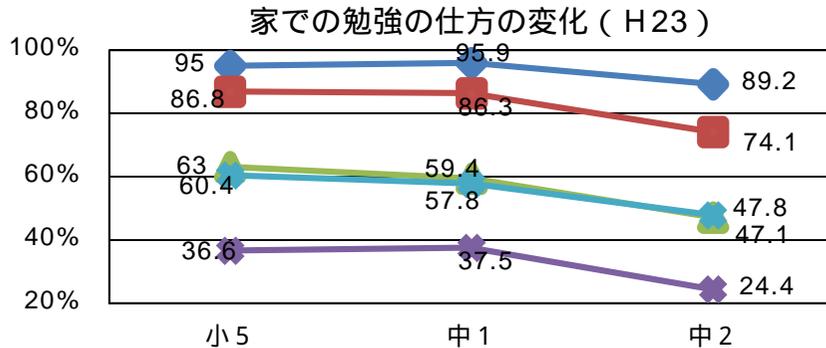
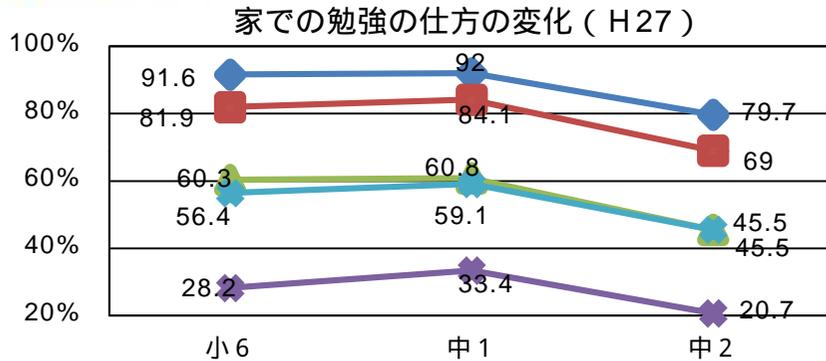
## ・前期計画策定後の主な取組

中学校弁当事業を全校で実施/教育振興基金を設置/読書力向上事業/社会力育成事業/あまっ子ジャンプチャレンジランキング事業など

## ・今後の主な取組

中学校給食の実施/学びと育ち研究機関の設置など

◆出された宿題はきちんとする ■嫌いな科目でもがんばってやる ▲家の人に言われなくても自分から進んで勉強する ◆授業で習ったことについて自分で詳しく調べる ◆宿題以外の勉強もする



指標名	方向	策定時の値	目標値 H29	実績値				達成率	
				H25	H26	H27	H28		
学力調査における平均正答率の全国との比較		(H26)							
	小6	2.2	小6 0以上	小6 1.5	小6 2.2	小6 1.6		小 8.8% 中 25%	
	～	3.4	中3 0以上	～ 4.1	～ 3.4	～ 3.1	**		
	中3	1.9	中3 0以上	中3 3.9	中3 1.9	中3 1.2			
～	3.2	ポイント	～ 5.8	～ 3.2	～ 2.4				
小・中学生が受ける新体力テストにおける平均得点		(H23)	50.0					0.0%	
	45.2	(県平均値)	45.0	44.1	44.8	**			
学校の教育活動にかかわりを持っている市民の割合		(H24)	23.9%	50.0	35.7	30.4	33.1	**	35.2%

## 主な変更点

前期計画から大きな変更は必要ないと考えるが、前期計画策定以降「子どもの自立支援室」の設置など、精力的に取り組んでいる不登校対策やいじめ対策などを含む「心の育成」については、学力の定着などとは別に新たな展開方向を新たに設定して取組を推進するとともに進捗管理を行っていく。

# 施策04 子ども・子育て支援

## ・前期計画策定時の背景（課題）

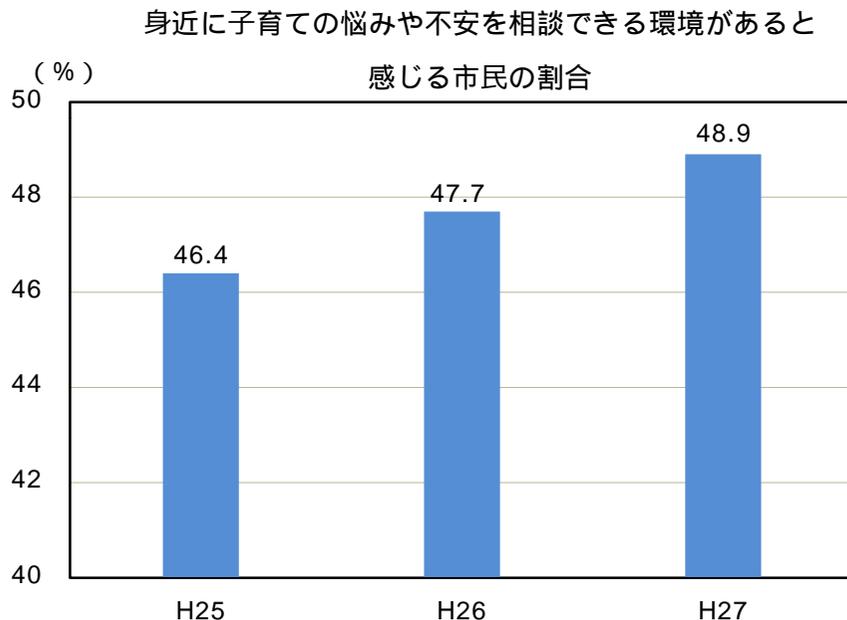
母親の就労希望や保育所・児童ホームの利用者が増加傾向にあり、就労形態の多様化等を背景に保育ニーズも多様化し、児童虐待の相談受付件数は阪神間他市に比べて多いことなどが課題

## ・前期計画策定後の主な取組

保育所や児童ホームの定員増/つどいの広場（地域子育て支援事業実施施設）や病児病後児保育事業実施施設の増/コミュニティソーシャルワーク（地域主体によるつながりづくりの支援等）の実施など

## ・今後の主な取組

「子どもの育ちに係る支援センター」の設置/保育所や児童ホームの定員増など

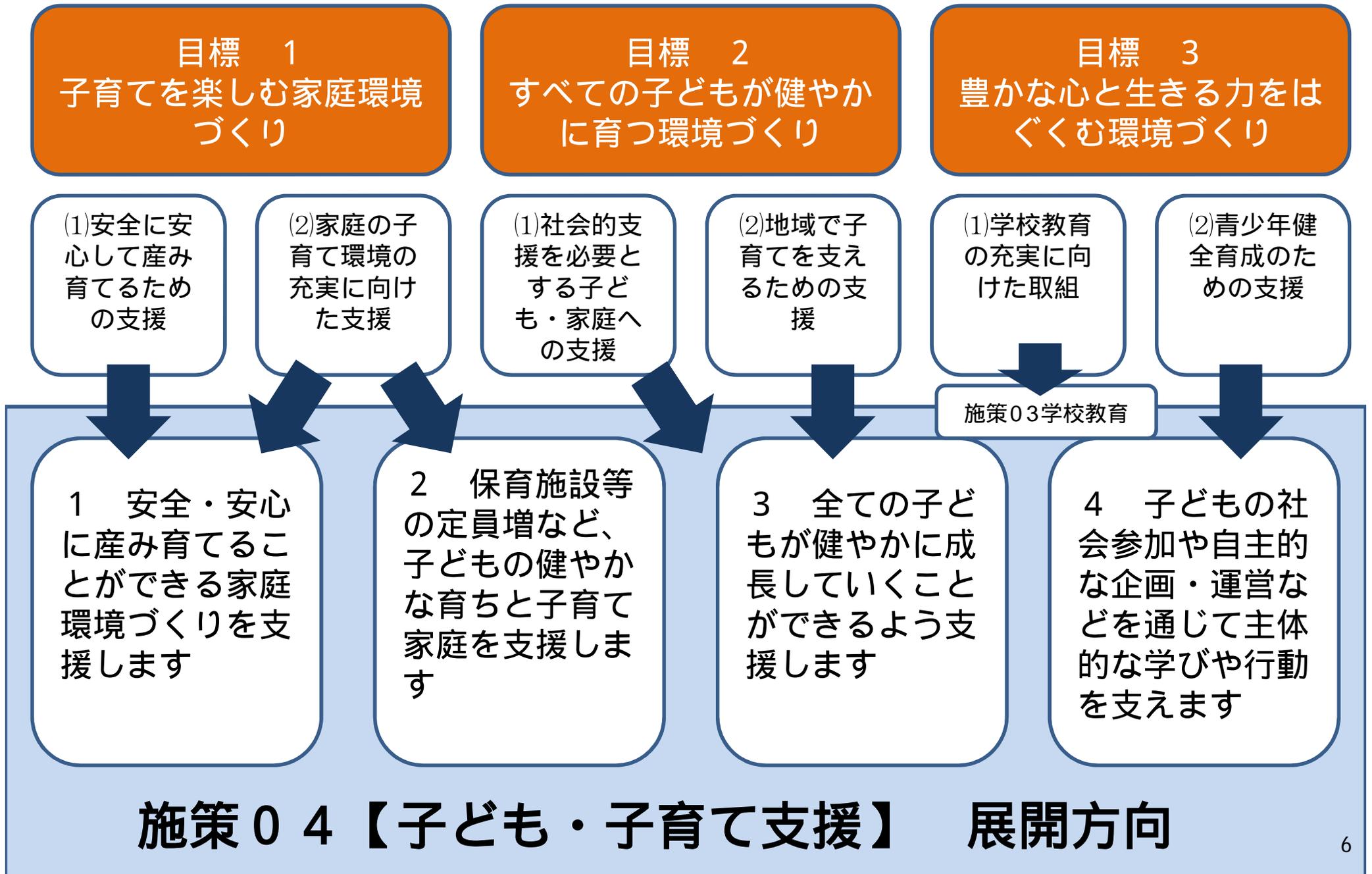


指標名	策定時 方向 の値	目標値 H29	実績値					達成率
			H25	H26	H27	H28		
身近に子育ての悩みや不安を相談できる環境があると 感じる市民の割合	(H23) 48.5 %	100	46.4	47.7	48.9	**	0.8 %	
青少年活動の団体数	(H23) 32 団体	33	25	24	28	35	100.0 %	
子育てに関する活動グループ（子育てサークル）数	(H22) 39 団体	40	33	31	30	25	0.0 %	

## 主な変更点

総合戦略に示す「子どもを持ちたいと思う人が、希望する数の子どもを「産み」「育て」られるまちを目指すには、妊娠期から子育て期にかかる切れ目のない支援が必要であり、そういった観点から平成28年3月に策定した「わいわいキッズプランあまがさき」において本市の子育て施策を整理したところです。後期計画においても、その「キッズプラン」に併せ、前期計画において「地域保健」の中で母子保健対策を記載していたが「子ども・子育て支援」に移行し、施策の展開方向を整理し進捗管理を行っていく。

# わいわいキッズプランあまがさきの目標及び施策



# 施策05 人権尊重

## ・前期計画策定時の背景（課題）

インターネットによる人権侵害、社会的弱者やマイノリティへの差別等の新たな人権問題への対応、多文化共生への取組をより一層進めること、また、性別にとらわれることなく、その個性と能力を十分に発揮することができるためには、男女の固定的な性別役割分担意識や社会慣行の解消がなど課題

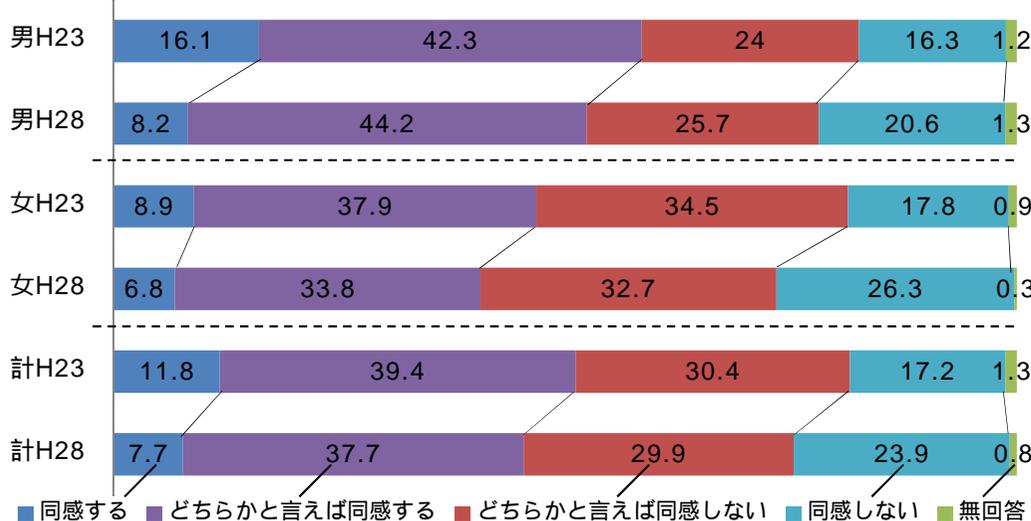
## ・前期計画策定後の主な取組

「じんけんスタディツアー」/「平和の祭典事業」の実施/「人権啓発推進員」の育成/「あまがさきスタートガイド」の作成/男女の人権の尊重と暴力の根絶/政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大など

## ・今後の主な取組

「あまがさきスタートガイド」の有効的な活用/LGBTなどの今日的な人権課題への対応/ワーク・ライフ・バランスの確立/政策や方針の企画・決定における女性の参画拡大など

「男は仕事、女は家事・育児」という考え方への意識



指標名	方向	策定時の値	目標値	実績値					達成率
				H29	H25	H26	H27	H28	
身近なところで人権問題が発生していると感じる市民の割合		(H23) 38.2 %	30	46.2	46.8	40	**	0.0 %	
啓発事業への参加者数		(H23) 107 人	400	298	303	306	301	66.2 %	
性別による固定的な役割分担に対する市民意識		(H23) 63.6 %	70	64.3	68.0	69.0	**	84.4 %	

## 主な変更点

前期計画より取組の方向性は大きく変更する必要はないと考えるが、「人権」について広い視点で、より身近な問題として捉えていただけよう、施策名称を変更するとともに施策を考える背景において、広く「人権」を捉えていただけよう文言を追加した。

また、展開方向についても市民一人ひとりが自らの問題として「人権」を捉えているかといった観点で整理し、より市民の「人権」意識を把握することの出来る指標へと変更する。

# 施策13 生活安全

## ・前期計画策定時の背景（課題）

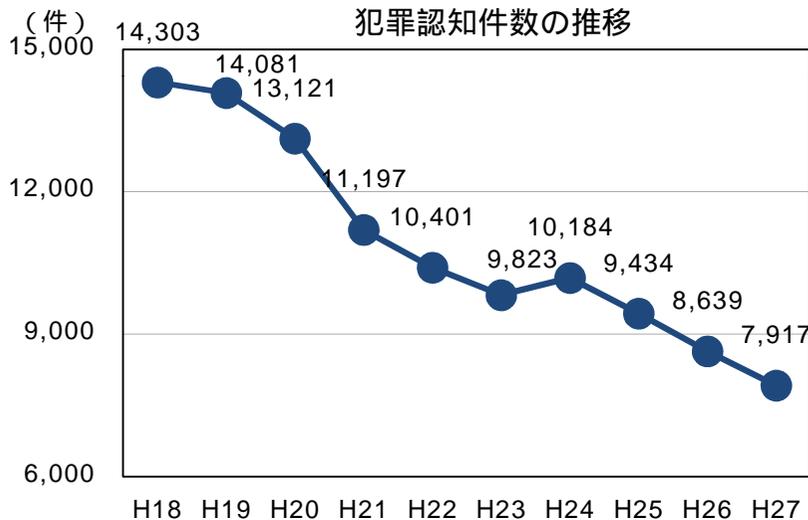
地域での防犯や交通安全といった身近な生活における安全性を上げていくためには、警察等の関係機関と連携した取組に加えて、市民一人ひとりが意識を持ち、犯罪への備えや交通ルールを守るとともに、地域ぐるみの活動を充実させ、犯罪や事故が起きにくいまちづくりに取り組んでいくことなどが課題

## ・前期計画策定後の主な取組

「尼崎市犯罪被害者等支援条例」を施行/可動式防犯カメラの設置など

## ・今後の主な取組

民間カメラを連携させた防犯カメラの運用/「尼崎市自転車のまちづくり推進条例」を施行/高齢者の交通事故抑制に向けた交通安全教室の実施など



指標名	方向	策定時の値	目標値 H29	実績値					達成率
				H25	H26	H27	H28		
市内の犯罪認知件数		(H22) 10,401 件	8,703	9,434	8,639	7,917	**	100. 0 %	
日常生活を安心して過ごすことができていると感じている市民の割合		(H23) 54.3 %	90	51	59	59	**	12.6 %	

## 主な変更点

取組の方向性に大きな変更はないが、前期計画策定以降、市域が平坦であり自転車利用に適したまちであるが故にそのことがまちの課題ともなっていた「自転車利用」についてを、まちの「魅力」としようという取組が大きく動き始めていることから、その視点からの記載を追記し、進捗管理を行っていく。

# 施策16 文化・交流

## ・前期計画策定時の背景（課題）

寺町に代表される歴史的資源や工場・運河等の産業観光資源、中央・三和・出屋敷商業地区をはじめとする商業集積など、独自性が高い地域資源を有していますが、まちの魅力やよさが、市外に向けて十分に発信できていない面があるので、まちの魅力を高め、効果的に発信し、まちのイメージの向上に取り組んでいくことが課題

## ・前期計画策定後の主な取組

あまがさき・魅力案内所（あまらぶi+Plus）の設置・運営/尼崎版シティプロモーション推進指針の策定/第1回シティプロモーションサミットの開催/尼崎市文化ビジョンの策定/あまらぶアトラボ「A-Lab」の設置・運営など

## ・今後の主な取組

子育てファミリー層の定住・転入促進を目的に「定住・転入促進情報発信サイト(尼ノ國)」を公開/地域資源を生かし、交流人口の増加や地域経済の活性化、地域に対する誇りと愛着を高める「観光地域づくり」を推進など

指標名	方向	策定時の値	目標値 H29	実績値				達成率
				H25	H26	H27	H28	
市民ボランティアガイドの案内者数		(H23) 2,040 人	2,300	2,242	2,025	2,120	**	30.8 %
尼崎市のイメージ		(H24) 35.4 %	50	32	35	40.3	**	33.6 %
市内の観光客入込客数		(H22) 1,855,615 人	2,200,000	2,091,137	2,110,359	2,311,583	**	100. 0 %

## 主な変更点

昨年の市制100周年に引き続き尼崎城の再建など、本市は現在、まち全体のイメージを飛躍的に向上できる大きなチャンスを迎えている。後期計画期間においては、市民はもとより市外の方々にも「選ばれる」まちを目指し、地域への愛着と誇りを醸成するとともに、交流人口の増加と地域経済の活性化に資する「観光地域づくり」を推進するため、施策名称を変更するとともに、展開方向を新たに設定しその進捗管理を行っていく。加えて、施策を推進する際には急速なSNSの発展を念頭に置く必要があることから背景にその旨を追記する。

# 施策17 地域の歴史

## ・前期計画策定時の背景（課題）

地域全体で保全活動等に取り組む必要があることから、地域の歴史に関する活動ができる環境や、子どもの頃から歴史を学ぶ機会を整えていくこと、地域資源を活かしたまちづくりを進めていくためには、多くの人が思いを持ってかかわる必要があることから、地域に対する誇りや愛着を醸成していくことなどが課題

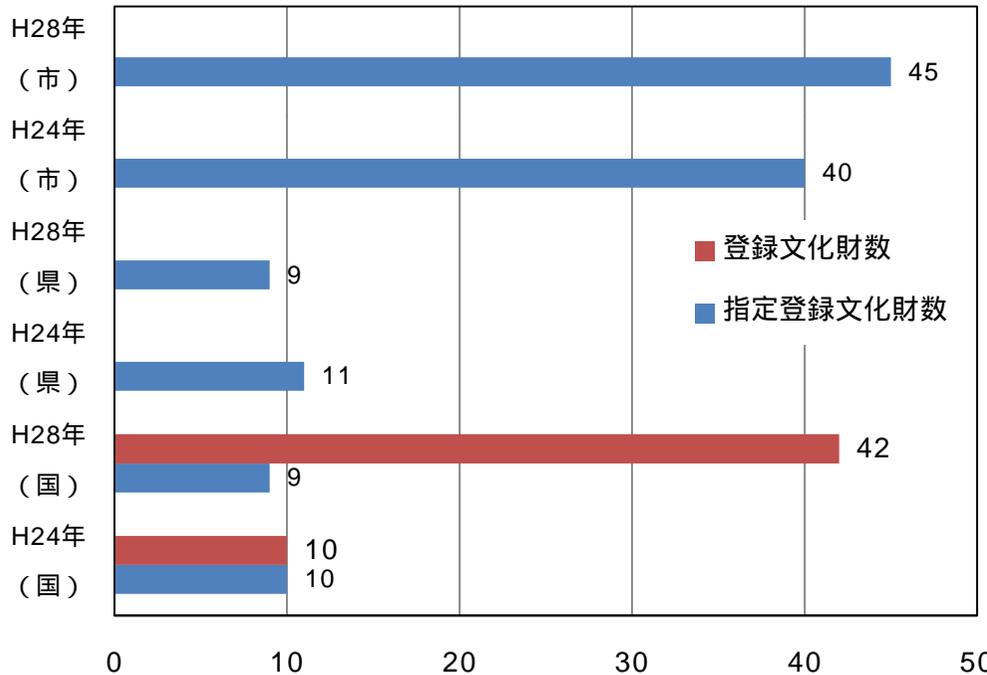
## ・前期計画策定後の主な取組

新「尼崎市史」の発行/文化財収蔵庫企画展の開催/歴史遺産保存活用シンポジウムの開催/史跡・文化財みどころ案内版の整備など

## ・今後の主な取組

歴史館機能の整備など

指定・登録文化財数



指標名	方向	策定時の値	目標値 H29	実績値				達成率
				H25	H26	H27	H28	
文化財や歴史に関するボランティアの活動者数		(H23) 2,098 人	2,400	2,270	2,712	2,828	**	100.0%
主催事業の参加者数		(H26) 1,388 人	1,500	1,089	1,388	1,640	**	100.0%
尼崎の歴史に関心を持っている市民の割合		(H26) 55.8 %	68.5	62.6	55.8	56.0	**	1.4%

## 主な変更点

前期計画より大きく変更する必要はないと考えるが、歴史遺産等の保存と活用は、市民への学習機会の充実と直結することから、展開方向をあわせて記載し進捗管理を行っていく。また、歴史遺産を守り活かすことで、まちの魅力を発信するとともに、市民の本市への愛着と誇りをはぐくむことを強く意識した書きぶりに修正する。

